

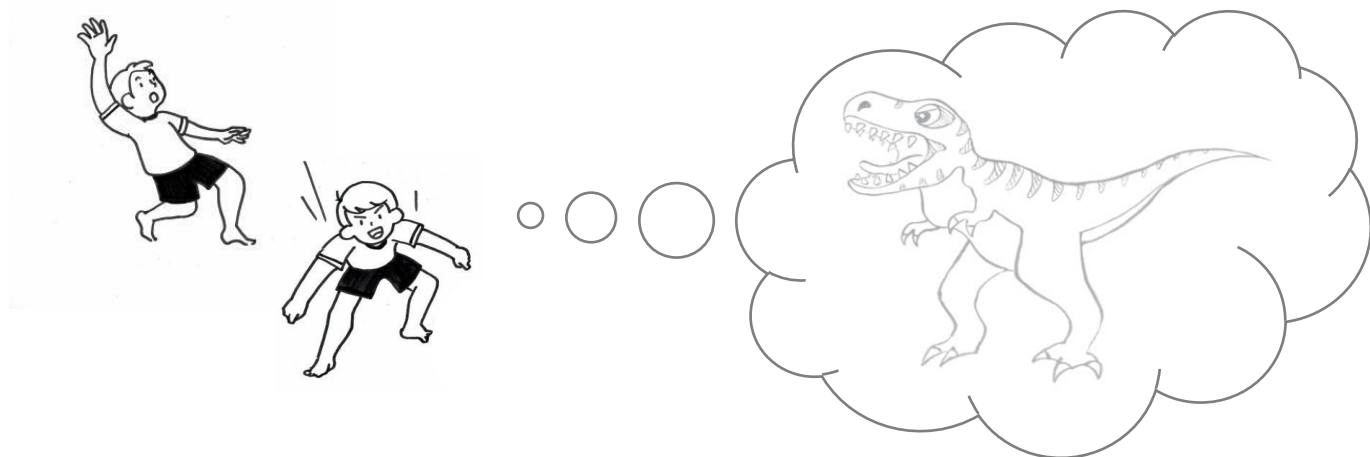
表現運動系領域部会

東京都小学校体育研究会 研究主題

互いに学び合い、自らの学びを深めていく体育学習

表現運動系領域部会 研究の重点

表現リズム遊びにおける協働的な学びの充実

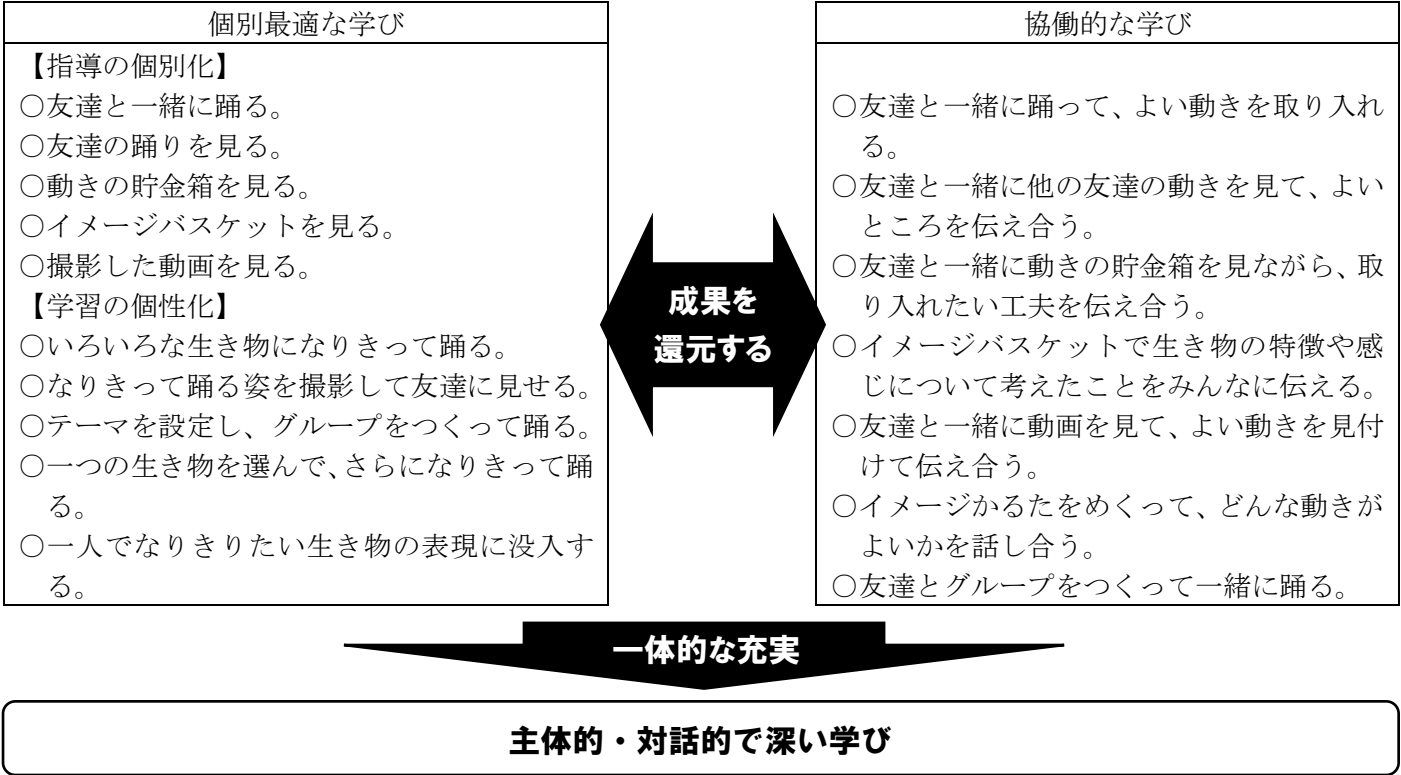


表現リズム遊び 「もうりワールド」



研究の内容

(1)「表現リズム遊び」における個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実について(「研究の概要」1 の補足資料)



(2) 学習課題と教師のかかわりについて

昨年度までの高学年「表現」の研究において「子供が自ら学習課題を見だし、その解決に向けて自己評価を繰り返しながら自らの学びを深めていく姿」を追究した。その中で表現運動系における自己評価の捉えを、子供がひと流れの動きで即興的に踊ったり、ひとまとまりの動きで作品づくりをしたりするときに自己やグループの踊りについて表したい感じやイメージが表現できているかを振り返り、踊りや学び方の改善に生かしていく姿と捉えた。自己評価の力は、以下の4つを繰り返すことで育まれると考えた。

- ・自分の得意なことや自信がもてることについて自覚すること
- ・自分の学習課題を見いだすこと
- ・自分のよいところを伸ばしたり、学習の不十分な点を改善したりする方法を考えること
- ・他者からの評価、動画を参考にして客観的に振り返りをする

以上の4つの活動に取り組む上で、子供が自己評価する際の根拠として「実感」「掲示物」「友達の言葉」「撮影した動画」を想定した。また、自己評価の力を育む上で、有効だった手立てに「デジタル振り返りシート」がある。デジタル振り返りシートでは、学習課題の設定は、セルをクリックすることで選択肢から自分に合った学習課題を選ぶことができるようにした。学習課題の選択肢については、学習指導要領解説をもとに、子供が見いだす学習課題を想定し、選択肢を以下のように作成した。設定したい学習課題が下記の選択肢にない場合は、「その他」を選択し自由に記述することができるようにした。

表現を楽しみたい	動きをよりよくしたい	その他
↓	↓	↓
積極的に踊りたい 友達のよさを認めたい グループで助け合いたい 役割を果たしたい 場の安全に気を付けて踊りたい	激しくオーバーに踊りたい イメージしたことを動きにしたい リズムを変えて踊りたい 場を広く使って踊りたい 人数の多さを生かして踊りたい 目線や表情を工夫して踊りたい 表したい感じやイメージを強調して踊りたい	(自由記述)

今年度、低学年「表現リズム遊び」における学習課題の捉えとして、児童は自分の思いや願い、今もっている力から学習課題を見いだしていくと考えた。低学年における学習課題を大きく2つに分けると、以下のように想定できる。

踊りを楽しみたい	もっとなりきって踊りたい
☐ 全力で踊りたい ☐ 誰とでも仲よく踊りたい ☐ 友達とぶつからないように踊りたい など	☐ なりきって踊りたい ☐ 全身で踊りたい ☐ はやく動いたり、ゆっくり動いたりしたい ☐ 生き物の特徴を見付けたい ☐ 友達の真似をしたい など

児童一人一人の学習課題に合わせて教師が適切に発問、称賛、支援などのかかわりをもつことは、児童が自らの学びを深めていく体育学習につながると考え、児童の学習課題とそれに合わせた教師のかかわりを以下の図のように示している。

なお、児童の学習課題は、踊ることや他者とのかかわることを繰り返す過程で変化していく。教師が意図的にかかわりをもつことで、課題を解決するための活動に主体的・対話的に取り組むとともに、自分に合った学習課題を見いだすことができると考えている。

【資料】

学習課題例

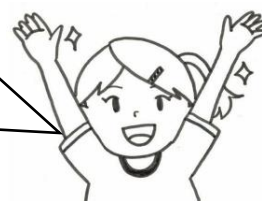


踊りを楽しみたい

- ・全力で踊りたい
- ・誰とでも仲良く踊りたい
- ・友達とぶつからないように踊りたい

なりきって踊りたい

- ・なりきって踊りたい
- ・全身で踊りたい
- ・はやく動いたり、ゆっくり動いたりしたい
- ・生き物の特徴を見付けたい
- ・友達の真似をしたい



踊りを楽しみたい

支援 恥ずかしがって踊れない児童は、まず教師と一緒に踊る。

- ・一緒に踊ろう！先生のまねをしてみてね。
- ・〇〇さんの踊りが楽しそうだね。一緒に踊ってみよう。

称賛 体を大きく使っていることを称賛する。

- ・全身で踊れているね。
- ・天井に届きそうなくらい手を伸ばしているね。
- ・人がいないところに動いているね。



学習課題に応じた 教師のかかわり

もっとなりきって踊りたい

発問 オノマトペを用いて生き物の特徴を捉えられるようにする。

- ・クマはどう歩くの？（のっしのっし、ドスン）
- ・リスはどんなことをしているかな？（タタタタ、キョロキョロ）

支援 友達に自分から声を掛けられない児童は、まず教師と一緒に踊る。

- ・一緒に踊ろう！先生のまねをしてみてね。
- ・〇〇さんの踊りが楽しそうだね。一緒に踊ってみよう。

称賛 止まらずに次々と即興的に動物になりきって踊っていることを褒める。

- ・腕をいっぱい伸ばしていて、ゾウの鼻のようだね。
- ・ゾウの大きさがゆっくりな動きから伝わってくるね。

生きもののいろいろな様子や特徴を捉え、ふさわしい動きを見付けている児童を称賛する。

- ・ゴリラになって体を上下に動かしてる！胸を大きく反って威嚇しているよ。怒っている感じが伝わるね。
- ・〇〇さんは表情までなりきってるね。

大きく踊っている児童や今までの学習から、特徴を捉えた動きを取り入れられるようにする。

（イメージバスケットを見ながら）

- ・空飛ぶワシになってどんなことをしたい？
- ・今まで経験した「大変だ！」の中でどれを取り入れたらもっと楽しくなるかな？

支援 いろいろな様子や特徴に合ったかかわりを選んで踊りに取り入れられるようにする。

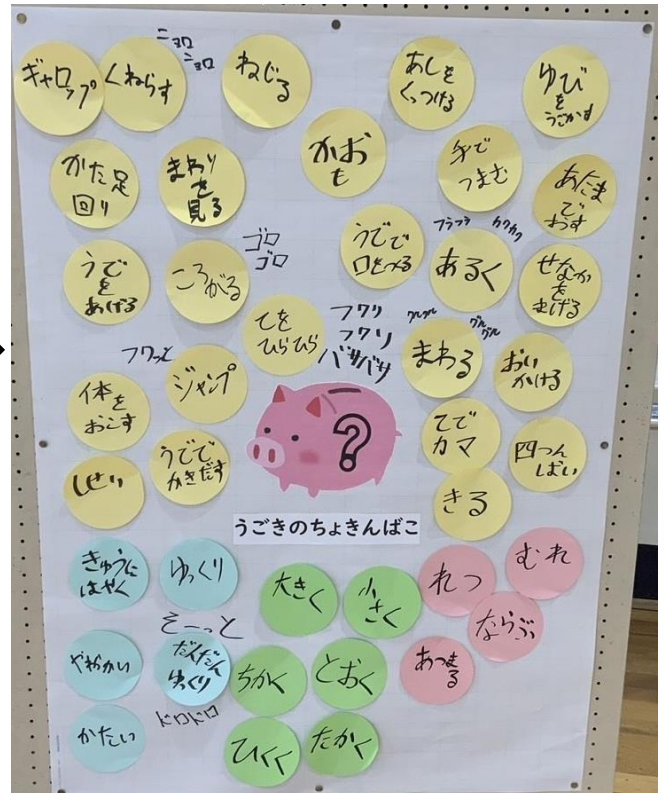
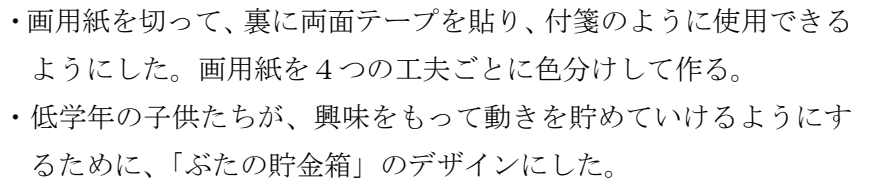
（大きく踊っている児童を取り上げ）

- ・〇〇さんが鳥になりきってる！どんなところをまねしてみたい？
- ・クマがもっと、もっと大きかったらどう歩くかな？
- ・友達と動きを合わせたり、わざと反対にしたりしてもっと楽しくしてみよう。
- ・2匹のゴリラが近づいたり、離れたたり、一人ではできない動きにチャレンジしてみるのもいいね。



○よい動きを書きためる「動きの貯金箱」の活用

教師にとっても、それがよい動きの視点となり、適切な言葉掛けをすることができる。例えば、カードを見て「空間」の工夫があまり出ていなければ、それを工夫している児童を見付けて全体に共有することができる。そして、それが、中学年・高学年で4つの工夫へとつながるようにしていく。



○一枚ポートフォリオ評価

今年度の学習カードは、自己評価する力を高めるために「一枚ポートフォリオ評価」の形を取り入れて作成した。毎時間の最後に「一番大切だと思うこと」を書くことで、その時間に児童が学んだことを見取ることができる。そして、一人一人の学びの道筋が分かり、児童がどのように学んだのかを評価し、指導改善につなげていく。また、学びの履歴を振り返りやすく、学習前と学習後で学びの変容に気づきやすいことを利点としている。

単元の学習前と学習後には同じように「表現を楽しむために大切なことは何ですか」と同じ発問をすることで、学びの深まりが表れるようにした。本部会では、一人一人の児童が書いたことを受け止め「一人一人の学びのスピードや道筋は異なる」と捉え、見守る姿勢で児童理解するためにこの学習カードを活用したいと考える。

○ICTの活用

昨年度までの高学年「表現」の研究において、本部会では以下のように ICT の活用を提案し、効果を実証することができた。

①探究の学習（ひとまとまりの動きで踊る）における動画撮影

→教師から提示するのではなく、子供が必要感をもった際に活用できるようにした。課題発見や自己評価の根拠としたり、グループでの学び合いの際に活用したりする姿が見られた。

②デジタル振り返りシート

→振り返りの基にしたことを「実感」「掲示物」「友達からの言葉」「自分で撮影」から選んで○を入力することで、自己評価する際の根拠を明確にすることができる。この経験を積み重ねていくことで、自己評価の質を高めることにつながると考えた。また、1つのシートで学習の履歴をいつでも振り返られるようにすることで、自身の学びの変容を実感することができるようにした。

③イメージボードでの活用

→ひとまとまりの動きで作品づくりをする際、グループのイメージを共有するためにホワイトボードアプリ（ジャムボード）を活用した（実証授業①）。

これらを踏まえた上で、今年度、低学年「表現リズム遊び」においては、次のような活用を考えている。

探究の学習における動画撮影

→昨年度と同様に、教師から提示するのではなく、子供が表現リズム遊びをもっと楽しむために、必要感をもった際に活用できるようにする。

これらの手立ては、個別最適な学びの充実に有効である一方で、表現リズム遊びの特性を味わう妨げにならないよう、活用方法に気を付ける必要があると考える。

○学習過程の工夫

表現運動は、自己の心身を解き放して、リズムやイメージの世界に没入してなりきって踊ったり、互いの良さを生かし合って仲間と交流して踊ったりする楽しさや喜びを味わうことができるという特性がある。また、ゴールフリー的な「探究型」の学習を基本にしている。「やってみる（習得）」から「ひろげる（活用）」への学びの循環を繰り返しながら、「深める（探究）」へと発展させ、そのプロセスへの総体が「探究型」の学習になっているのが特徴である。（村田芳子 表現運動・表現の最新指導法より）本部会では、表現における深い学びを、「一人一人の子供がそれぞれの学習課題を見だし、その解決を図る中で、表現の工夫の仕方を習得したり、それらを活用して踊ったりすることを繰り返し、動きを強調したり、表情や目線まで意識して感じを込めたりして、試行錯誤しながらそれぞれの子供が表したいイメージの表現を探究すること」と捉えている。低学年でも習得と活用を繰り返し、探究的な活動を経験できる学習過程にすることで、その学び方が蓄積されていき、中学年、高学年の学習や深い学びへとつなげていく。

時間	1	2	3	4（部内）	5	6（実証）
段階	運動との出会い	習得・活用				探究
学 習 活 動 ・ 内 容	 どんなことをするのか楽しみだな。 早く踊ってみたいな。 踊るのが苦手だから不安だな。	 前回よりもリズム遊び、表現遊びを楽しみたい。 もっとなりきって踊りたい。 イメージに合わせて動きを工夫して踊りたい。				
	心と体をほぐす 友達と関わりながら心と体をほぐす運動に取り組む。 (例) ・ミラーマン ・足ふみ ・窓拭き ・あやつり人形 ・ぴよぴよちゃん ・スキップ&ストップ	リズム遊び【習得・活用】 教師の踊りの真似をして即興的に踊る。いろいろな動きで即興的に踊る。				
	 やってみたら楽しいな。次は何をやるのかな。 みんなでやってみる 運動との出会い（リズム遊び） 教師の踊りの真似をして即興的に踊る。 みんなでやってみる 運動との出会い（表現遊び） 「いきものランド」にどんな生き物がいるかを想像し、イメージバスケットでいろいろなイメージを出し合う。 教師のリードに合わせて踊る 教師がイメージかるたを引き、教師のリードで踊ってみる。教師が価値付けたことを自分もやってみる。 学習の見通しをもつ イメージバスケットで出し合ったものを、第2時からどのように取り組んでいくかみんなで考え、学習の見通しをもつ。	表現遊び みんなでやってみる【習得】 イメージバスケットでイメージを広げ、教師のリードに合わせて踊る。 いろいろなイメージや教師が価値付けたことを自分もやってみる。 小テーマ 「野原や森の生き物」 (例 1) 蜜を集めたり強風に飛ばされたりするミツバチ (例 2) 獲物にゆっくり近付いたり戦ったりするカマキリ (例 3) 食べ物を運んだり巣まで運んだりするアリ 小テーマ 「ジャングルの生き物」 (例 1) 腹ぺこのピラニアが自分より大きな獲物を見付けた！ (例 2) 獲物にゆっくり近付くジャガー。その後… (例 3) ゴリラが食べ物を探してうろうろ、きょろきょろ 小テーマ 「大昔の生き物」 (例 1) 卵から出てきた恐竜の赤ちゃんが初めての兄弟げんか (例 2) 大きな翼を広げていろいろな場所に飛んでいくプテラノドン (例 3) 最強のティラノサウルスの戦い 小テーマ 「空想の生き物」 (例 1) 長い龍が体をくねらせて雲の中から現れた！ (例 2) ガシャガシャ踊る骨人間が踊りすぎてガシャッと倒れる。 (例 3) ぴよぴよ跳ねてバサッと開くかさお化け				表現遊び 表現遊びをもっと楽しむ【探究】 第5時まで学習したことを生かして、もっと楽しむためにしたいことを選んで取り組む。  蜜を吸っていたミツバチとチョウが、突然現れた大きなカマキリに捕まらないように逃げるお話を考えて踊ろうよ！ 習得・活用してきたことを生かし、もっとしたいことを選んで踊る。
	 楽しく踊れるようになりたい。 もっとなりきって踊りたい。 友達と一緒に協力して取り組みたい。 振り返り 本時の学習の振り返りをする。  友達の真似をしてみたり、一緒に踊ってみたいしたら、楽しく踊れることに気付いた。掲示物を見たら、イメージに合う動きを見付けられた。友達からアドバイスをもらったら、もっとなりきって踊ることができた。					
	振り返り 単元の振り返りをする。  友達と一緒に踊ると楽しかった。友達にアドバイスをもらって、なりきって踊れた。ほかの学習でもアドバイスをし合いたい。					

表現運動系領域部会で一緒に研究しませんか？



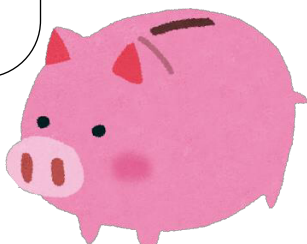
表現運動系領域部会では、「運動が大好き！」「表現運動が楽しい！」という子供たちを増やすことや「表現の授業をもっとやってみよう！」と思う先生が増えてくれることを願って、研究を進めています。

部会では、グループを作って話し合ったり、実技研修を行ったりしています。とてもアットホームな雰囲気です。表現の授業に興味のある方は部長・副部長へお問い合わせください。部員一同、心よりお待ちしております。

(部長) 足立区立梅島小学校 阿部千春 03(3889)9501

これまでの研究資料や今後の部会日程は、小体研ホームページにある表現運動系領域部会のホームページに載せています。

ぜひご覧ください。



【実証授業のお知らせ】

授業日 令和5年11月6日(月)
単 元 第2学年 表現リズム遊び
「もうりワールド」
場 所 江東区立毛利小学校
授業者 笹部 透 主任教諭